

植田清次 ウツタキヨシ 哲學者、文學博士。明治二十五年七月十八日兵庫縣生
れ、昭和二十八年十月二十日没（一九〇二—六三）。昭和六年早稲田大學卒。
哲學雜誌『理想』編輯などを經ぐ、二十一年早大教授。プラグマティ
ズム、分析哲學を研究。

著書に、『戦争論』（編、昭和八年五月、千五百理想社出版部）、『現
代アメリカの經濟及文化』（合著、昭和十五年十一月十五台揚社）、
『現代英米哲學』（昭和十六年十一月十五台理想社）、『経験的世界』
（昭和十七年一月十五台同文館出版部）、『世界觀の哲學』（合著・
理想社編、昭和十八年十月十日理想社）、『西田哲學とデューイ哲學』
（昭和二十一年九月、千石光の書房）、『タウンズロサクメン哲學の傳
統—その觀念論的傾向の線—』（昭和二十一年十月、千石東京
堂『近代文庫』）、『現代世界文學展望』（編、昭和二十二年十一月
一日、創元社）等。譯書に、『ホルド・ラスキ著 政治學入門』（昭和
二十九年三月、千石創元社『創元文庫』）等。

